

大阪・関西万博“ほぼ”500日前イベント TEAM EXPO FES in 吹田 への参画について

池田泉州銀行は、関西大学 千里山キャンパスで開催されるTEAM EXPO FES in 吹田へ参画いたします。行員有志による万博応援サポーター、関大万博部、クリエイターの方たち、および当日ご来場いただける方々との共創プロジェクトとして「みんなでつくる 万博GUTSU GUTSU鍋」をコンセプトに出展します。

名称：Road to 2025!! TEAM EXPO FES in 吹田

日時：2023年11月12日（日）10:00～18:00終演予定

会場：関西大学 千里山キャンパス

（吹田市山手町3丁目3番35号）

主催：TEAM EXPO FES実行委員会（FM802、(株)三菱総合研究所、
(株)ソニー・ミュージックエンタテインメント）

共催：吹田市

協賛：ソニーグループ(株)、ソニーセミコンダクタソリューションズ(株)、
大日本印刷(株)(DNP)、ぴあ、池田泉州銀行 他

協力：関西大学、(一社)demoexpo

様々なイベント、ラジオ公開収録、キッチンカーなど盛りだくさん！

詳細はコチラから <https://www.team-expo-fes.jp/suita/>



● 出展概要

コンセプト

「みんなでつくる。万博 GUTSU GUTSU 鍋」

いろんな可能性を混ぜ合わせ、ぐつぐつ煮込んで、その熱と成果と笑顔の世界へ広げていく。2025年大阪・関西万博が掲げる共創を軸に、おいしい素材がお鍋の中で融け合い、味わいを増すように、ご縁によって集まったたくさんの人の熱で、みんなでわいわいお鍋を囲むような「わくわく」を作り上げます。

展示内容

参加型ワークショップの「きおくのおなべ」作りを開催します。Tシャツ、ハンカチ、ネクタイ、トートバックなど、**お家にある、なんだか捨てられない生地**を持ってきてください。生地を使って、みんなでお鍋を作りましょう。

ほかにも、鍋でスープを振る舞ったり、鍋を囲んでの「鍋談義」、鍋の具材に見立てたボールを投げて鍋料理を完成させるゲームなど楽しさ盛りだくさん！11月12日はぜひ関西大学千里山キャンパスにお越しください。



- 一緒にGUTSU GUTSUいただける方たち
本企画は、様々な方との共創プロジェクトとして実施いたします。

関大万博部

「私たちがやらなきゃ誰がやる!？」「万博のワクワク感を伝えたい!」。そんな思いを持つ関大生たちが仲間となって発足した学生コミュニティ。学生クリエイターたちはSDGs推進など日々の学びをベースとし、それぞれが「輝く」ことができるユニークな企画づくりに挑戦。



クリエイター紹介

(敬称略)

町工場の端材など、静物を生物に変換する実験プロジェクト「LIVEISM」※を手掛けるチーム

小島 和人ハモニズム

(株)ロフトワーク プロデューサー

アート作品を作らないアーティスト「ハモニズム (作家名)」。建築施工管理、デザイナー、プランナー、アーティストという経歴をたどり、多様なものから着想を得て繋げることで先入観を取り除き、変化するためのプロジェクト設計を得意とする。先行きが見えない社会の中で企業や団体がこの先で何をすべきか?を提案している。



高田 雄平

エコロジカルアーティスト

1970年大阪万博に、作品展示やアートパフォーマンスで大きく貢献した具体美術協会の中心メンバー 嶋本昭三氏に師事。マイナスの廃材からプラスの作品をテーマに作品制作を行う。子供の時から変わらない好奇心や鑑賞者に驚きを与えること、誰もやったことがない面白いことが創作の原点。



松尾 泰貴

(株)友安製作所 ソーシャルデザイン部担当執行役員

関西大学卒後、八尾市に入庁。13年勤めた行政マンをやめ、2021年に友安製作所入社。八尾市にて「みせるばやお」(地域企業、大学、金融機関からなるコンソーシアム)を立ち上げ、2020年には「FactorISM」(オープンファクトリープロジェクト)を開始。行政時代から初志一徹、「仕事には夢を まちづくりには愛を」をスローガンに、人、企業、地域の「変化の起点」として活動している。



※ (参考URL) 静物を生物に変換する実験プロジェクト「LIVEISM」

<https://factorism.jp/2023/10/18/2948/>

